

Title	表紙・目次・投稿規定・奥付・Contents
Author(s)	
Editor(s)	
Citation	大阪府立大学高等教育推進機構（外国語教育センター）論文集 言語と文化. 17
Issue Date	2018-03-01
URL	http://hdl.handle.net/10466/15741
Rights	

言語と文化

Language and Culture

Sprache und Kultur

Langue et Culture

語言与文化

언어와 문화

2018. 3

第17号

大阪府立大学高等教育推進機構

目 次

研究論文

Second Language (L2) Writing Assessment in a Graduate-level
English Academic Writing Course

..... 藤岡 真由美 (1)

Using Functional Grammar to Develop Interpretations of Literary Texts

..... 徳永 アン (19)

観光業のESP研究における語用論研究の応用の意義について

..... 岩井 千春 (37)

研究ノート

英語学習における「ビリーフ」に関する調査

..... 宮永 千恵子 (51)

授業実践報告

初年次ゼミナール6年め～学生は何を学んだのか？

..... 堀江 珠喜 (67)

翻訳

思考の場

ウィーンのカフェハウス ヘルベルト・レーデラー著

..... ペピン ハンス ヨアヒム (77)

『言語と文化』投稿規定

(2016年6月23日改定)

1. 『言語と文化』は大阪府立大学における教育と研究の成果を掲載することによって、言語と文化の領域における教育と研究の向上に資することを目的とする。投稿資格者は、大阪府立大学の専任教員で、高等教育推進機構の外国語科目または日本語科目を担当している者とする。ただし、編集委員会が特に認めた場合はその限りではない。
2. 原稿種別は、研究論文、研究ノート、授業実践報告、翻訳、書評の5種とし、未発表のものに限る。ただし、既に口頭で発表し、その旨明記されている場合は可とする。投稿は1名につき1編とする。
3. 本文、注、参考文献、図版、図表等すべてにおいて著作権を侵害していないこと、および研究公正の点において問題がないこと。
4. 全ての原稿種別において、最終ページに日本語（400字程度）または英語（200語程度）による要約をつける。原稿は刷り上がりで、要約まですべて含めて20ページ（1ページは37行）以内とする。
5. 原稿は横書きを原則とし、原稿の表紙に原稿タイトルと氏名を明記する。
6. 投稿はワープロ出稿を原則とし、完成原稿を提出すること。提出にあたってはA4用紙にプリントアウトした原稿本文と、それを収めたメモリー媒体（ディスクやUSBメモリー）をセットにし、定められた期限までに編集委員会に渡すこと。メモリー媒体には機種名、使用ソフト名、原稿種別、タイトルと投稿者名を明記すること。
7. 投稿原稿の採否および原稿種別は編集委員会が総合的に判断する。編集委員会は必要に応じて、編集委員以外の研究者に査読を求めることができる。
8. 投稿者による校正は2校までとし、大幅な加筆修正は認めない。
9. 掲載された論文等の著作権は、高等教育推進機構に帰属するものとする。
10. 掲載された論文等は、編集委員会の議を経て、大阪府立大学機関リポジトリで公開される。

第17号執筆者紹介（掲載順）

藤岡 真由美	大阪府立大学高等教育推進機構	教授
徳永 アン	大阪府立大学高等教育推進機構	教授
岩井 千春	大阪府立大学高等教育推進機構	教授
宮永 千恵子	大阪府立大学高等教育推進機構	教授
堀江 珠喜	大阪府立大学高等教育推進機構	教授
ペピン H.-J.	大阪府立大学高等教育推進機構	教授

第17号編集委員

近藤 直樹（委員長） ペピン H.-J. 稲垣 スーチン

大阪府立大学高等教育推進機構(外国語教育センター)論文集

言語と文化 第17号

2018年3月1日発行

599-8531 堺市中区学園町1-1

発行者 大阪府立大学

印刷社 株式会社 春日

大阪府中央区上汐2-2-22 水谷ビル3F

Language Center Journal

Osaka Prefecture University

Vol.17 2018

CONTENTS

Research Articles

Second Language (L2) Writing Assessment in a Graduate-level
English Academic Writing Course

..... Mayumi Fujioka (1)

Using Functional Grammar to Develop Interpretations of Literary Texts

..... Anne Tokunaga (19)

Significance of application of pragmatics research methods to ESP for tourism

..... Chiharu Iwai (37)

Research Note

A Survey of First-year University Students' Beliefs in English Learning

..... Chieko Miyanaga (51)

Teaching Practice Report

The First Year Seminar 2017

..... Tamaki Horie (67)

Translation

The Vienna Coffeehouse

..... Hans-Joachim Pepping (77)